

第4章 塗布型ライニング工法による防食設計

第1節 塗布型ライニング工法の品質規格

各工法規格(D₁種、C種、B種、A種)に適用する塗布型ライニング工法は、表4-1の品質規格を満足しなければならない。

表4-1 塗布型ライニング工法の品質規格

工法規格 項目	A種	B種	C種	D ₁ 種
被覆の外観	被覆にしわ、むら、はがれ、われのないこと。	同左	同左	同左
コンクリートとの接着性	標準状態 1.5MPa以上 吸水状態 1.2MPa以上	同左	同左	同左
耐酸性	pH3の硫酸水溶液に30日間浸漬しても被覆にふくれ、われ、軟化、溶出がないこと。	pH1の硫酸水溶液に30日間浸漬しても被覆にふくれ、われ、軟化、溶出がないこと。	10%の硫酸水溶液に45日間浸漬しても被覆にふくれ、われ、軟化、溶出がないこと。	10%の硫酸水溶液に60日間浸漬しても被覆にふくれ、われ、軟化、溶出がないこと。
硫酸侵入深さ	-	-	10%の硫酸水溶液に120日間浸漬した時の侵入深さが設計厚さに対して10%以下であること、かつ、200μm以下であること。	10%の硫酸水溶液に120日間浸漬した時の侵入深さが設計厚さに対して5%以下であること、かつ、100μm以下であること。
耐アルカリ性	水酸化カルシウム飽和水溶液に30日間浸漬しても被覆にふくれ、われ、軟化、溶出がないこと。	同左	水酸化カルシウム飽和水溶液に45日間浸漬しても被覆にふくれ、われ、軟化、溶出がないこと。	水酸化カルシウム飽和水溶液に60日間浸漬しても被覆にふくれ、われ、軟化、溶出がないこと。
透水性	透水量が 0.30g以下	透水量が 0.25g以下	透水量が 0.20g以下	透水量が 0.15g以下

注1) 防食被覆層は、公的機関における試験、または立ち会い試験において、上記の品質規定に合格したものでなくてはならない。

注2) 試験方法は、参考資料-3.防食被覆層の品質試験方法による。

注3) 硫酸侵入深さにおける設計厚さは、各種工法の防食被覆材料製造業者が規定する設計厚とする。